

## 〔Small Talk とは〕

児童が、①既習表現を繰り返し使用できるようにしてその定着を図ること、②対話の続け方を指導することをねらいとした 5・6 年生の活動です。5 年生では、インプットを中心に、指導者と児童のやり取りをします。（手順①）6 年生では、指導者と児童のやり取りをモデルとして、子ども同士のやり取りをさせ、活動の途中で、分からないことやできないことに対しての指導を行い、相手を変えて再度やり取りを行います。（手順①～④）2 時間に 1 回設定することが望ましいとされています。

## 〔手順〕

- ①教師と児童のやり取り  
（話題の提供、初めの質問、反応や感想・関連質問など、6 年生では児童にモデルを示す。）
- ②児童と児童のやり取り
- ③指導  
（児童のよい例を紹介し「使わせたい英語」を共有する。上手く言えなかった表現があれば全体で共有し、既習を手掛かりに解決案を考える。）
- ④児童と児童のやり取り  
（相手を変えて複数回行う。）

## 〔対話を続けるための基本的な表現例〕

対話の開始	対話を始めるあいさつ
繰り返し	相手の話した内容を繰り返す
一言感想	相手の話した内容について感想を言う
確かめ	相手の話した内容が聞き取れなかった場合、再度発話を促す
さらに質問	相手の話した内容について、さらに詳しく知るために、内容に関わる質問をする
対話の終了	対話の終わりの挨拶

## 〔指導例〕

### テーマ：「好きな食べ物について」

<指導例①> 児童に対話を続けるモデルを示す



I ate sukiyaki yesterday.  
I like sukiyaki.  
It's very nice.  
What food do you like?

教師自身の事や感想などを伝え、話題を導入する

I like sushi.



Oh, you like sushi.  
児童の発言を受けとめる  
Me too.  
反応する  
I like tuna. How about tuna?  
自分のことを言ってから質問する  
（5W1H の質問など）

I like tuna.



You, too.  
児童の発言を受けとめる  
That's nice.  
感想を言う

児童に対話を続ける表現や工夫を示し、指導する。  
その後、児童同士の Small Talk で使用させる。

<指導例②> 質問に答えられなかった児童への指導



I ate sukiyaki yesterday.  
I like sukiyaki.  
It's very nice.  
What food do you like?

教師自身の事や感想などを伝え、話題を導入する

.....。



What food do you like?  
食べるジェスチャーをしながら尋ねる  
Food, yakiniku, sushi...  
具体例を挙げながら food が食べ物を言っているのではないかと気付かせる。  
I like yakiniku.  
How about you?  
Do you like yakiniku?  
英語で答えるのが難しそうな児童には Yes/No で答えられる質問をする。

Yes.



児童に会話ができたと成功体験を感じさせる



Oh, yes, you do. You like yakiniku.  
児童の発言を受けとめる  
That's nice. 感想を言う  
Do I like yakiniku? Yes, I do.  
I like yakiniku, too.  
既習事項の I like を繰り返し聞かせ、定着を図る  
What food do you like?  
別の児童に質問する